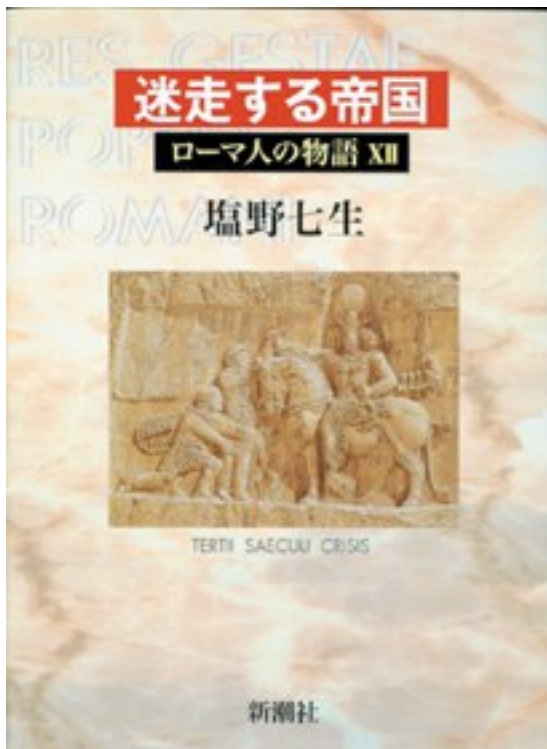


# ローマ人の物語 (12) -迷走する帝国



[ローマ人の物語 \(12\) -迷走する帝国\\_ 下载链接1](#)

著者:

出版者:新潮社

出版时间:2003-12-16

装帧:

isbn:9784103096214

もはやローマは、幾多の危機を乗り越え発展しつづける「栄光の覇者」ではなくなっていた。経済は低迷し、蛮族の侵入が相次ぐ中、皇帝捕囚という未曾有の国難にも見舞われる。皇帝たちの懸命の努力とは裏腹に、帝国は衰退の階段を着実に下り始め、キリスト教が台頭してくる……。『危機の三世紀』の現実を描き尽くした力作。

作者介绍:

塩野七生／著

1937年7月、東京に生れる。学習院大学文学部哲学科卒業後、1963年から1968年にかけて、イタリアに遊びつつ学んだ。1968年に執筆活動を開始し、「ルネサンスの女たち」を「中央公論」誌に発表。初めての書下ろし長編『チェーザレ・ボルジアあるいは優雅なる冷酷』により1970年度毎日出版文化賞を受賞。この年からイタリアに住む。1982年、『海の都の物語』によりサントリー学芸賞。1983年、菊池寛賞。1992年より、ローマ帝国興亡の歴史を描く「ローマ人の物語」にとりくみ、一年に一作のペースで執筆。1993年、『ローマ人の物語Ⅰ』により新潮学芸賞。1999年、司馬遼太郎賞。2001年、『塩野七生ルネサンス著作集』全7巻を刊行。2002年、イタリア政府より国家功労勲章を授与される。2006年、「ローマ人の物語」第XV巻を刊行し、同シリーズ完結。2007年、文化功労者に選ばれる。2008-2009年に『ローマ亡き後の地中海世界』（上・下）を刊行。2010年より「十字軍物語」シリーズを刊行開始。

目録: 読者に

第一部 ローマ帝国・三世紀前半

第一章（紀元二一一年―二一八年）

皇帝カラカラ／誰でもローマ市民！／「既得権」と「取得権」／「取得権」の「既得権」化による影響／帝国防衛／ローマのインフレ／パルティア戦役／機動部隊／メソポタミアへ／謀殺／皇帝マクリヌス／撤退／シリアの女／帝位奪還

第二章（紀元二一八年―二三五年）

皇帝ヘラガバルス／皇帝アレクサンデル・セヴェルス／法学者ウルピアヌス／六年の平和／忠臣失脚／歴史家ディオ／ササン朝ペルシア／再興の旗印／ペルシア戦役（1）／兵士たちのストライキ／第一戦／ゲルマン対策／ライン河畔

第三章（紀元二三五年―二六〇年）

皇帝マクシミヌス・トラクス／実力と正統性／元老院の反撃／一年に五人の皇帝／実務家ティメジテウス／東方遠征／古代の地政学／皇帝フィリップス・アラブス／ローマ建国一千年祭／皇帝デキウス／キリスト教徒弾圧（1）／蛮族の大侵入／ゴート族／石棺／蛮族との講和／ゲルマン民族、はじめて地中海へ／皇帝ヴァレリアヌス／キリスト教徒弾圧（2）

第二部 ローマ帝国・三世紀後半

第一章（紀元二六〇年―二七〇年）

ペルシア王シャプール／皇帝捕囚／ペルシアでのインフラ工事／皇帝ガリエヌス／未曾有の国難／ガリア帝国／パルミラ／帝国三分／一つの法律／「防衛線（リメス）」の歴史的変容／軍の構造改革／スタグフレーション／“タンス貯金”？／不信任／皇帝クラウディウス・ゴティクス／ゴート族来襲

第二章（紀元二七〇年―二八四年）

皇帝アウレリアヌス／反攻開始／通貨の発行権／「アウレリアヌス城壁」／ダキア放棄／女王ゼノビア／第一戦／第二戦／パルミラ攻防／ガリア再復／凱旋式（triumphus）／帝国再統合／皇帝空位／皇帝タキトゥス／皇帝プロブス／蛮族同化政策／皇帝カルス／ペルシア戦役（2）／落雷

第三章 ローマ帝国とキリスト教

年表

参考文献

図版出典一覧

・ ・ ・ ・ ・ [\(收起\)](#)

[ローマ人の物語 \(12\) -迷走する帝国\\_ 下载链接1\\_](#)

标签

历史

罗马人的故事

罗马

意大利

评论

-----  
[ローマ人の物語 \(12\) -迷走する帝国\\_ 下载链接1\\_](#)

书评

-----  
[ローマ人の物語 \(12\) -迷走する帝国\\_ 下载链接1\\_](#)